

PTA 人権教育講演会 令和6年6月15日(土)

「夢を持ち続ける そしてあきらめない」 ～パラアーチェリーとの出会い～

講師 パリパラアーチェリー日本代表
大江 佑弥 さん

前回の感想の続き（児童）をご紹介します。

<児童>

- 「小さなことでも目標をかけた、達成するために努力する」という言葉が特に心に残りました。私はやることがいっぱいあるとき、何もかもやる気がなくなってしまいます。でも、一つずつ、一段ずつ、目標に向かって努力を重ねることで、ようやく大きな目標を達成することができるということがよく分かりました。
- 何かに挑戦し、目標をもつことの大切さを教わったので、私も大江さんみたいに、夢を追い続けて、つかみ取れるように努力できる人になるよう頑張りたいです。
- 障がいをもっていても夢に向かっていて大江さんの話を聞いて、私も自分の目標に向かってキラキラした生活をしたいです。
- 障がいをもっていても、自分の障がいを理解し、向き合い、自分に今できることをやろうとしている大江さんは、人として尊敬できる方だと思いました。「夢をもつ大切さ」「あきらめない心」を教えてくださいありがとうございました。
- 大江さんが大切にされている「休憩するときは気を抜いて」「矢を射るときは集中する」というメリハリをつけるということも参考に自分の生活の中に生かしていきたいと思いました。
- 大江さんが矢を射っている時の姿と雰囲気がかっこいいしすごいと感じました。
- パラアーチェリーのことをあまり知りませんでした。この機会によく知ることができました。最後まで、あきらめずに新しい人生に挑戦した大江さんは、とてもすごい人だと思います！
- 大江さんは、自分が頑張っていたことができなくても、自分の得意なことを他で生かせるように考えて、そのことを全力で突き進んでいることがすごいなと思いました。私もどんなことがあっても前を向いて突き進んでいきたいです。

心に響くお話と迫力ある実射のご披露ありがとうございました。大江さんのパラリンピックでの活躍をお祈りするとともに熱烈に応援しています。